

成年男子チーム

少年男子チーム



男女総合優勝
群馬県

女子総合優勝
和歌山県

少年女子チーム



とちぎ国体・大会承認第1-49号

いちご一会とちぎ国体

第77回 国民体育大会 夢を感動へ。感動を未来へ。 2022

- 2~3面 第13回 東日本・西日本シニア選手権大会
- 4~7面 第77回国民体育大会
- 8面 INFORMATION



群馬県が悲願の男女総合初制覇。2種目で優勝した少年女子チームの活躍もさることながら、昨年の全日本選手権で総合優勝した男子メンバーの実力は、いつか国体でも発揮されるものと注目されていました。天皇杯得点は種別・種目をまたいだ総合力の表れ。「全員表彰台」の達成感の先に、さらなる歓喜が待っていました。

皇后杯得点は和歌山県。前回大会でも成年女子団体戦準優勝を一緒に経験した4名は、3年間でさらに信頼を育み、女子総合の頂点に立ちました。

文部科学大臣杯

第60回 全日本大学ボウリング選手権大会

2022.12.2金▶4日

- 主催 公益財団法人 全日本ボウリング協会
- 後援 スポーツ庁
- 協力 日本ボウリング機構 (JBO)
- 主管 全日本学生ボウリング連合 関東学生ボウリング連盟

川崎グランドボウル

〒210-0012 神奈川県川崎市川崎区宮前町11-14 TEL 044-244-2281
<https://www.grandbowl.jp/kawasaki/>

第55回全日本実業団ボウリング選手権大会

2022.11.25(金)▶27(日)

- 主催 公益財団法人 全日本ボウリング協会
- 後援 埼玉県教育委員会
公益財団法人 埼玉県体育協会
- 協力 日本ボウリング機構 (JBO)
- 主管 全日本実業団ボウリング連合
埼玉県ボウリング連盟

新狭山グランドボウル

〒350-1331 埼玉県狭山市新狭山1-1-9 TEL 04-2952-2111
<https://www.grandbowl.jp/shinsayama/>

選手権大会

●東日本シニア

第13回東日本シニア選手権大会と第13回西日本シニア選手権大会が、10月21日(金)から23日(日)にかけて同日開催された。今回の舞台は長野・ヤングフアラオ(公競No.117・016)と岡山・サンフラワーポウル(公競No.134・040)。合計500名を超えるシニアボウラーがしのぎを削った。

男子シニア

1回戦は一昨年の覇者、梅田久徳(三重)が676でトップに立つも、2位以下は僅差の激戦。2回戦では飯田剛(三重)が逆転した。この時点では2位の飯田浩一(岐阜)とは16ピン差だったが、3回戦でも飯田は672をマークして首位をキープ。2位につけた梅田との差は56ピンに開いた。決勝戦では梅田が詰め寄ったが、飯田は16ピン差で辛くも逃げ切った。トップ3を三重県勢が独占し、層の厚さを示した。

女子シニア

梅垣智美(茨城)が2577の好スタートで1回戦トップ。2回戦では小林瑞恵

(左から)優勝の宮城、準優勝の座波



世界挑戦へのステップ ついに再始動

U22 Fukuoka 2022 Japan Bowling Tournament sponsored by STORM

U22 Fukuoka 2022 Japan Bowling Tournament sponsored by STORMが10月22日(土)・23日(日)に福岡・仲原Jポウル(公競No.140-142)で開催されました。ジュニア・ユース世代の国際オープン大会として創設されたU22が、新型コロナによる休止を経て3年ぶりに実現。まずは国内選手を対象として再始動を果たしました。

大会の目的は、若きボウラーが世界へ挑戦するための支援です。スポンサーのSTORM社から、優勝者には海外でのオープン大会参加サポートが副賞として提供されました。準優勝以下にもボールやバッグなどの競技用品が豊富に用意され、上位3名には賞金も贈呈されました。

豪華なプレゼントを前にモチベーションも上がった選手たち。決勝戦では熾烈な勝負を繰り返し、宮城快仁(沖縄)がその頂点に立ちました。

- 【最終順位】
 ①宮城快仁(沖縄) ②下地良尚(沖縄) ③座波政斗(沖縄)

●西日本シニア

1回戦は西本邦彦(香川)と西村俊男(愛媛)がともに711でトップ。29ピン差で追っていた難波江康雄(広島)は2回戦に269・279とビッグゲームを連続し、1437までスコアを伸ばした。23ピン差で2位につけた坂本健治

男子シニア

1回戦は宮戸康次(神奈川)がひとり700台をマークした。5位につけた村上尚男(神奈川)は2回戦も711をマークして宮戸を逆転。そして3回戦では東秀雄(石川)が690を打って首位に浮上した。

女子シニア

森下美紀(京都)が安定

男子シニア

2位の村上に50ピン差をつけた東は、決勝の3ゲームもすべてプラスして657。リードを広げて優勝を果たした。

女子シニア

2位の村上に50ピン差をつけた東は、決勝の3ゲームもすべてプラスして657。リードを広げて優勝を果たした。

男子シニア

1回戦は西本邦彦(香川)と西村俊男(愛媛)がともに711でトップ。29ピン差で追っていた難波江康雄(広島)は2回戦に269・279とビッグゲームを連続し、1437までスコアを伸ばした。23ピン差で2位につけた坂本健治

女子シニア

森下美紀(京都)が安定

第13回東日本シニアボウリング選手権大会 成績表

2022年10月21日(金)～23日(日)			
会場: 長野・ヤングフアラオ			
参加: 280名			
《男子シニアの部》 126名	95名	《女子シニアの部》 126名	50名
優勝 飯田 剛 (三重)	2,549	優勝 梅垣 智美 (茨城)	2,380
準優勝 梅田 久徳 (三重)	2,533	準優勝 鈴木 のり子 (愛知)	2,336
第3位 佐々木 秀明 (三重)	2,532	第3位 岡 里美 (石川)	2,299
第4位 山中 徹治 (東京)	2,530	第4位 小林 瑞恵 (長野)	2,284
第5位 伊藤 公人 (神奈川)	2,524	第5位 岩田 直美 (埼玉)	2,237
第6位 椎野 秀樹 (愛知)	2,515	第6位 鈴木 英子 (福島)	2,236
ハイゲーム 山中 徹治 (東京)	270	ハイゲーム 小林 瑞恵 (長野)	275
ハイシリーズ 荒 真一 (東京)	699	ハイシリーズ 小林 瑞恵 (長野)	653
《男子グラウンドシニアの部》 126名	101名	《女子グラウンドシニアの部》 126名	34名
優勝 東 秀雄 (石川)	2,567	優勝 柳川 穂波 (三重)	2,339
準優勝 村上 悦男 (神奈川)	2,507	準優勝 西村 沙池子 (愛知)	2,204
第3位 栗田 賢一 (愛知)	2,483	第3位 久我 百合子 (新潟)	2,169
第4位 糸賀 祥雄 (埼玉)	2,430	第4位 森井 裕子 (愛知)	2,125
第5位 前田 知一 (石川)	2,415	第5位 木村 優子 (埼玉)	2,094
第6位 前田 良一 (石川)	2,410	第6位 中村 邦子 (石川)	2,094
ハイゲーム 宮戸 康次 (神奈川)	265	ハイゲーム 柳川 穂波 (三重)	236
ハイシリーズ 宮戸 康次 (神奈川)	699	ハイシリーズ 柳川 穂波 (三重)	629

第13回西日本シニアボウリング選手権大会 成績表

2022年10月21日(金)～23日(日)			
会場: 岡山・サンフラワーポウル			
参加: 222名			
《男子シニアの部》 126名	59名	《女子シニアの部》 126名	39名
優勝 難波江 康雄 (広島)	*2,792	優勝 若木 香代子 (愛媛)	2,437
準優勝 坂本 健治 (京都)	2,683	準優勝 草名 恵美子 (滋賀)	2,280
第3位 西本 邦彦 (香川)	2,609	第3位 山中 貴美 (高知)	2,279
第4位 長島 則夫 (大阪)	2,584	第4位 高畑 由佳 (香川)	2,269
第5位 辻 貴司 (長崎)	2,575	第5位 大井 典子 (岡山)	2,258
第6位 足立 光弘 (大阪)	2,537	第6位 松本 光仔 (岡山)	2,247
ハイゲーム 長島 則夫 (大阪)	296	ハイゲーム 松本 光仔 (岡山)	246
ハイシリーズ 難波江 康雄 (広島)	755	ハイシリーズ 若木 香代子 (愛媛)	637
《男子グラウンドシニアの部》 126名	81名	《女子グラウンドシニアの部》 126名	43名
優勝 松井 正信 (大阪)	2,629	優勝 山本 智恵美 (滋賀)	2,450
準優勝 高橋 忠夫 (広島)	2,617	準優勝 平田 千鶴子 (岡山)	2,426
第3位 播本 雄輔 (京都)	2,609	第3位 鈴木 百合子 (岡山)	2,403
第4位 マドレ 秀弘 (京都)	2,573	第4位 林 静恵 (山口)	2,362
第5位 木村 堅司 (岡山)	2,560	第5位 村 眞代 (大阪)	2,209
第6位 下岡 吉美 (岡山)	2,534	第6位 中川 みち子 (滋賀)	2,185
ハイゲーム 竹内 隆司 (兵庫)	287	ハイゲーム 奥 幸子 (京都)	247
ハイシリーズ 吉田 勝 (大阪)	748	ハイシリーズ 山本 智恵美 (滋賀)	652



障害の有無をこえて 一緒にチームプレー

第19回全日本視覚障害者選手権大会

第19回全日本視覚障害者選手権大会(主催:一般社団法人全日本視覚障害者ボウリング協会、JBC)が10月1日(土)・2日(日)に東京・東京ポートポウル(公競No.113-027)で開催されました。全国から選手26名が参加しました。

初日は視力に基づく3クラス別の個人戦。予選6ゲーム、決勝トーナメントで行われ、谷口光春選手(B1)、岩下由美子選手(B2)、三苦典之選手(B3)が優勝を果たしました。

2日目には、この大会で初の試みとなる「インクルーシブチーム戦」が行われました。ブラインドボウラー2名または3名と晴眼者ボウラー1名がチームを組み、パーカー方式でプレーしてスコアを競いました。

B1選手がガイドレールを利用する以外は全員が同じ条件でプレーをしていく中で、晴眼者が情報の多さ故に迷う場面や、ブラインド選手のプレーには情報を補う能力を感じる場面がありました。決勝戦では優勝チームのアンカーを務めたブラインド選手がパンチアウトでゲームを締めくくり、場内は大喝采でした。

女子シニア

山本智恵美(滋賀)と平

女子シニア

山本智恵美(滋賀)と平

ガイド!

東日本・西日本シニア選手権大会は、男子シニア・女子シニア(50～64歳)、男子グラウンドシニア・女子グラウンドシニア(65歳以上)の4部門からなる。この大会は(公財)ミズノスポーツ振興財団の別個人戦、予選9ゲームの後、上位者による決勝3ゲームを行い、12ゲームの総得点で順位を決定する。

助成を得て開催しています。

*...大金新記録

第13回東日本・西日本シニア

東日本 男子シニアの部



優勝の飯田剛 (三重)



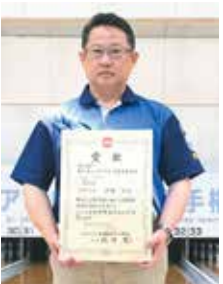
準優勝の梅田久徳 (三重)



第3位の佐々木秀明 (三重)



第4位の山中徹治 (東京)



第5位の伊藤公人 (神奈川)



第6位の椎野秀樹 (愛知)

東日本 女子シニアの部



優勝の檜垣智美 (茨城)



準優勝の鈴木のリ子 (愛知)

東日本 男子グランドシニアの部



第3位の岡里美 (石川)



第4位の小林瑞恵 (長野)



第5位の岩田直美 (埼玉)



第6位の鈴木英子 (福島)



優勝の東秀雄 (石川)



準優勝の村上悦男 (神奈川)



第3位の栗田賢一 (愛知)



第4位の糸賀祥雄 (埼玉)

東日本 女子グランドシニアの部



第5位の前田知一 (石川)



第6位の前田良一 (石川)



優勝の柳川穂波 (三重)



準優勝の西村沙池子 (愛知)



第3位の久我百合子 (新潟)



第4位の森井裕子 (愛知)



第5位の木村優子 (埼玉)



第6位の中村邦子 (石川)

西日本 男子シニアの部



優勝の難波江康雄 (広島)



準優勝の坂本健治 (京都)



第3位の西本邦彦 (香川)



第4位の長島則夫 (大阪)



第5位の辻貴司 (長崎)



第6位の足立光弘 (大阪)

西日本 女子シニアの部



優勝の若木香代子 (愛媛)



準優勝の草名恵美子 (滋賀)



第3位の山中貴美 (高知)



第4位の高畑由佳 (香川)



第5位の大井典子 (岡山)



第6位の松本光仔 (岡山)

西日本 男子グランドシニアの部



優勝の松井正信 (大阪)



準優勝の高橋忠夫 (広島)



第3位の播本雄輔 (京都)



第4位のマドレ秀弘 (京都)



第5位の木村堅司 (岡山)



第6位の下岡吉美 (岡山)

西日本 女子グランドシニアの部



優勝の山本智恵美 (滋賀)



準優勝の平田千鶴子 (岡山)



第3位の鈴木百合子 (岡山)



第4位の林静恵 (山口)

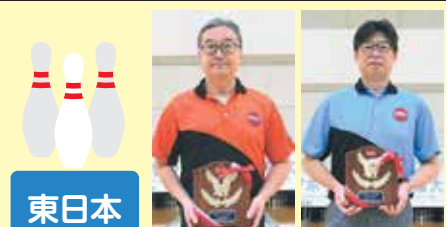


第5位の寺村真代 (大阪)



第6位の中川みち子 (滋賀)

ハイゲーム・ハイシリーズ



東日本



男子シニア HGの山中徹治



男子シニア HSの荒真一



女子シニア HG・HSの小林瑞恵



男子グランドシニアHG・HSの宮戸康次



女子グランドシニアHG・HSの柳川穂波



西日本



男子シニア HGの長島則夫



男子シニア HSの難波江康雄



女子シニア HGの松本光仔



女子シニア HSの若木香代子



男子グランドシニアHGの竹内隆司



男子グランドシニアHSの吉田勝



女子グランドシニアHGの奥享子



女子グランドシニアHSの山本智恵美

群馬、悲願の男女総合制覇



※第7位の福岡は表彰式欠席

女子総合は和歌山が返り咲き

第77回国民体育大会 ボウリング競技会 成績表

*成年男子団体戦 (4人チーム) (4×6G)		*成年女子団体戦 (4人チーム) (4×6G)	
1. 鹿児島 (久富木広・東福貴浩・野村経博・日置秀一) 4,787	2. 山口 (大谷駿斗・今村蒼太・宮野史隆・杉山辰也) 4,638	3. 和歌山 (和田翔吾・渡邊遼史・宮崎映丞・安里秀策) 4,612	4. 京都 (斉藤翔・立花和貴・井上裕貴・内藤慎之介) 4,593
5. 神奈川 (畑秀明・菅野直人・木村晃・鶴見亮剛) 4,571	6. 群馬 (宮澤拓哉・清水裕太・遊村和則・佐藤雄偉) 4,568	7. 佐賀 (枝吉謙・松尾齊・笹原卓也・村濱裕紀) 4,515	8. 愛知 (山田裕太郎・大谷裕豊・佐藤宇宙・白井康介) 4,419

*成年男子個人戦 (9G)		*成年女子個人戦 (9G)	
1. 愛知 A (山田裕太郎・白井康介) 2,465	2. 鹿兒島 A (久富木広・日置秀一) 2,464	3. 青森 A (中村祐麻・石岡大空) 2,433	4. 三重 A (高木裕太・瀬戸翔) 2,426
5. 埼玉 B (寺島光希・今北侑吾) 2,378	6. 神奈川 A (木村晃・菅野直人) 2,365	7. 神奈川 B (畑秀明・鶴見亮剛) 2,342	8. 埼玉 A (志摩竜太郎・新城一也) 2,307

*成年男子団体戦 (2人チーム) (2×6G)		*成年女子団体戦 (2人チーム) (2×6G)	
1. 愛知 A (山田裕太郎・白井康介) 2,465	2. 鹿兒島 A (久富木広・日置秀一) 2,464	3. 青森 A (中村祐麻・石岡大空) 2,433	4. 三重 A (高木裕太・瀬戸翔) 2,426
5. 埼玉 B (寺島光希・今北侑吾) 2,378	6. 神奈川 A (木村晃・菅野直人) 2,365	7. 神奈川 B (畑秀明・鶴見亮剛) 2,342	8. 埼玉 A (志摩竜太郎・新城一也) 2,307

*成年男子個人戦 (9G)		*成年女子個人戦 (9G)	
1. 愛知 A (山田裕太郎・白井康介) 2,465	2. 鹿兒島 A (久富木広・日置秀一) 2,464	3. 青森 A (中村祐麻・石岡大空) 2,433	4. 三重 A (高木裕太・瀬戸翔) 2,426
5. 埼玉 B (寺島光希・今北侑吾) 2,378	6. 神奈川 A (木村晃・菅野直人) 2,365	7. 神奈川 B (畑秀明・鶴見亮剛) 2,342	8. 埼玉 A (志摩竜太郎・新城一也) 2,307

男女総合 (天皇杯得点)	
1位 群馬 79	2位 和歌山 74
3位 愛知 71	4位 茨城 70.5
5位 鹿児島 58.5	6位 神奈川 51
7位 千葉 44	8位 福岡 44
9位 埼玉 43.5	10位 徳島 41.5
11位 北海道 36.5	12位 広島 36
13位 青森 34	14位 三重 34
15位 大阪 34	16位 京都 33
17位 山口 31	18位 宮城 28
19位 静岡 28	20位 新潟 22
21位 大分 28	22位 滋賀 25
23位 奈良 23	24位 新潟 22
25位 山形 17	26位 佐賀 16
27位 長崎 15	28位 熊本 13.5
29位 東京 13	30位 兵庫 13
31位 石川 12	32位 岩手 11

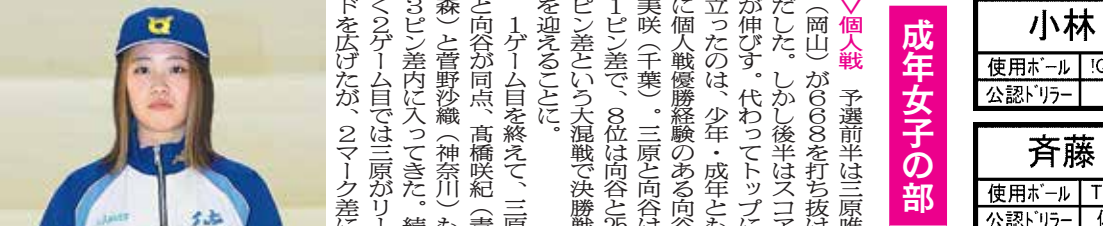
女子総合 (皇后杯得点)	
1位 和歌山 56	2位 茨城 45.5
3位 群馬 44	4位 愛知 38
5位 北海道 36.5	6位 大阪 34
7位 徳島 34	8位 広島 34
9位 三重 34	10位 奈良 23
11位 福岡 22	12位 静岡 28
13位 青森 16	14位 新潟 22
15位 兵庫 13	16位 埼玉 22
17位 福岡 12	18位 山形 17
19位 山梨 16	20位 長野 15
21位 富山 15	22位 石川 12
23位 福井 14	24位 岩手 11



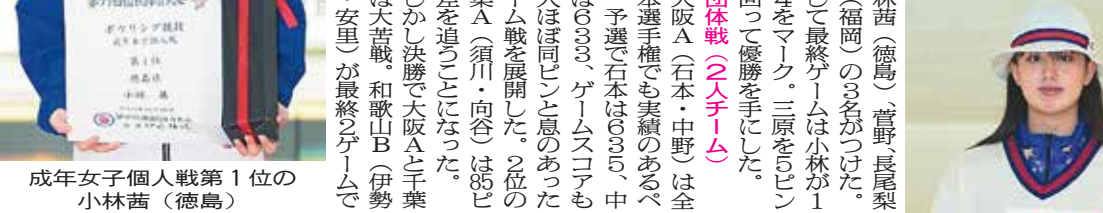
※第8位の大分、沖縄は表彰式欠席

男女総合 (天皇杯得点)
 今大会はまず少年の部の4種目が行われた。群馬は女子で2つの優勝を独占しただけでなく、男子も2種目とも入賞して53・5点を獲得した。同じく4種目すべて入賞した茨城は45・5点で2位につけた。

女子総合 (皇后杯得点)
 群馬は少年女子で34点を獲得したが、成年女子はブロック大会で敗退のため、ポイントが確定した。成年女子は3種目あるため、複数種目に入賞できれば群馬のポイントを超えることも可能。



成年女子個人戦第1位の渡辺希唯 (群馬)



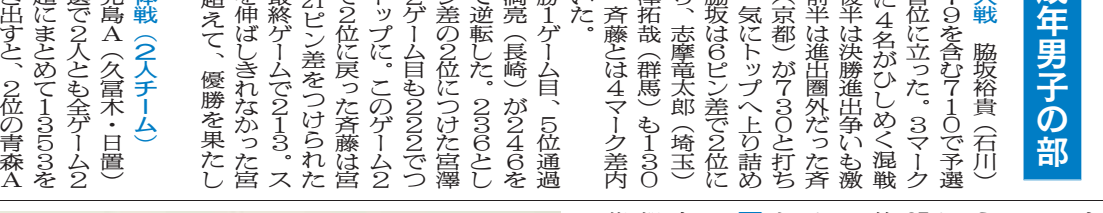
成年女子個人戦第1位の小林茜 (徳島)



成年女子団体戦 (2人チーム) 第1位の大阪A



成年女子団体戦 (4人チーム) 第1位の和歌山



成年男子個人戦第1位の斎藤翔 (京都)



成年男子団体戦 (4人チーム) 第1位の鹿兒島

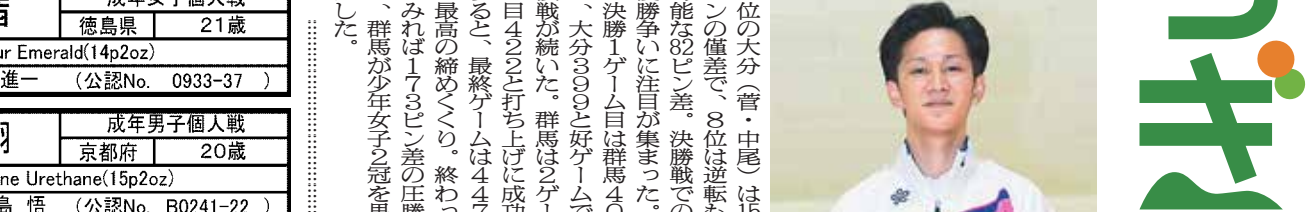
第77回国民体育大会 (いちご一会とちぎ国体) ボウリング競技が10月5日(休)から10日(月)にかけて、栃木県足利市の足利スターレーン (公認No.109-022) で開催された。

3年ぶりの開催で大半の選手が初挑戦となった少年の部では、女子は群馬県が、個人戦と団体戦の優勝を独占した。男女総合 (天皇杯得点) は群馬県が、出場した3種別の全選手が表彰台に立つ活躍で初制覇を遂げた。女子総合 (皇后杯得点) は成年女子団体戦 (4人) を制した和歌山県が3大会ぶり2度目の優勝を果たした。

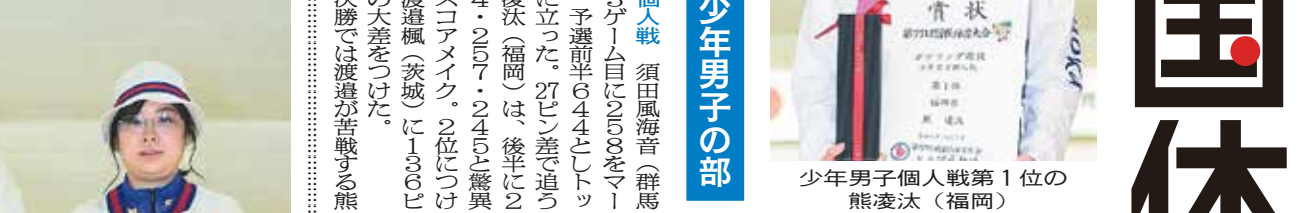
少年女子の部	
渡辺希唯 (群馬)	少年女子個人戦 群馬県 17歳
使用ボール: Purple Pearl Urethane Hammer (15p1oz)	福岡県 (公認No. 1807-10)
公認ドライバー: 福田尊仁	
熊凌汰 (福岡)	少年男子個人戦 福岡県 17歳
使用ボール: The One Urethane (15p3oz)	和歌山県 (公認No. 0048-40)
公認ドライバー: 玉井慎一郎	



少年女子団体戦第1位の群馬



少年男子個人戦第1位の熊凌汰 (福岡)



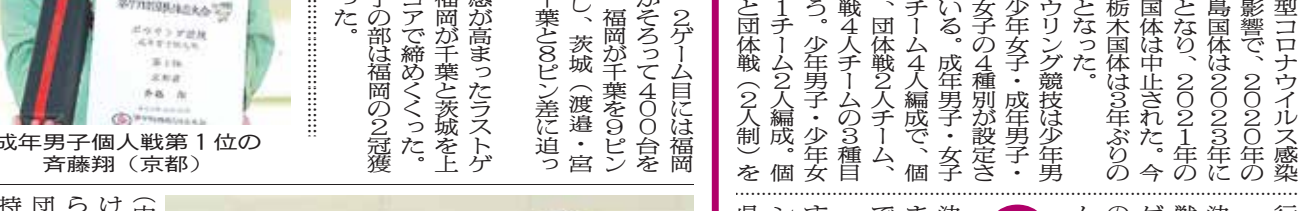
少年男子団体戦第1位の福岡



少年男子団体戦第1位の福岡



成年男子個人戦第1位の斎藤翔 (京都)



成年男子団体戦 (2人チーム) 第1位の愛知A



成年男子団体戦 (2人チーム) 第1位の愛知A

いちご一会とちぎ国体 2022



とちぎ国体・大会承認第1-49号

新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症の流行により、個人戦選手選考ゲーム、鹿兒島国体は2023年に延期となり、2022年の三重国体は中止された。今年、栃木国体は3年ぶりの開催となった。

ボウリング競技は少年男子・少年女子・成年男子・成年女子の4種が設定されている。成年男子・女子はチーム4編成で、個人戦・団体戦の2チーム。団体戦4人チームの3種目を行う。少年男子・少年女子は1チーム1人編成。個人戦・団体戦の2人制を、県の全種目の合計ポイントで決定する。

ポイント配分

個人戦 1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点

団体戦 1位24点、2位21点、3位18点、4位15点、5位12点、6位9点、7位6点、8位3点

※大会(ブロック大会含む)に参加した団体は10点が加算される。

ガイド

決勝は予選1位から5位までが進出し、スコア保持で順位を決定する。各種目5位までに入賞すると、順位に応じたポイントが与えられ、各都道府県は全種目の合計ポイントで順位を決定する。

個人戦 1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点

団体戦 1位24点、2位21点、3位18点、4位15点、5位12点、6位9点、7位6点、8位3点

※大会(ブロック大会含む)に参加した団体は10点が加算される。

少年男子の部

個人戦

団体戦



第2位の渡邊楓 (茨城)



第2位の千葉



第3位の須田風海音 (群馬)



第3位の茨城



第4位の内藤広人 (静岡)



第4位の徳島



第5位の星合一希 (徳島)



第4位の群馬



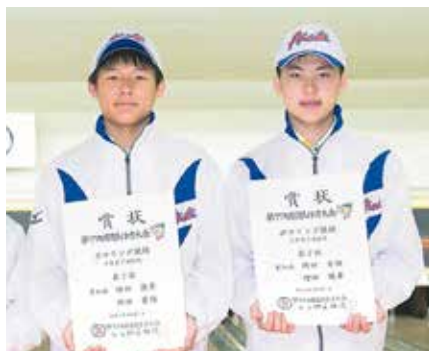
第6位の孫榮峻 (東京)



第6位の静岡



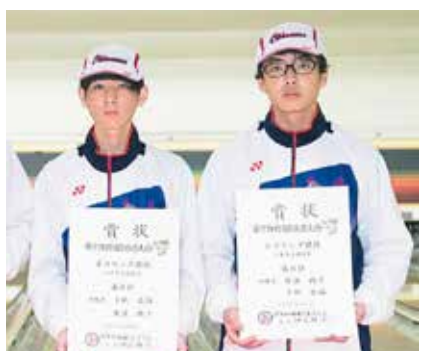
第7位の座波政斗 (沖縄)



第7位の愛知



第8位の河内唯斗 (石川)



第8位の沖縄

成年男子の部

個人戦

団体戦 (2人チーム)

団体戦 (4人チーム)



第2位の志摩竜太郎 (埼玉)



第2位の鹿児島A



第2位の山口



第2位の宮澤拓哉 (群馬)



第3位の青森A



第3位の和歌山



第4位の福満亮 (長崎)



第4位の三重A



第4位の京都



第5位の藤永北斗 (熊本)



第5位の埼玉B



第5位の神奈川



第5位の野村経博 (鹿児島)



第6位の神奈川A



第6位の群馬



第7位の山本智哉 (広島)



第7位の神奈川B



第7位の佐賀



第8位の脇坂裕貴 (石川)



第8位の埼玉A



第8位の愛知

少年女子部

個人戦

団体戦



第2位の森恵美 (奈良)



第2位の北海道



第3位の井崎寛菜 (茨城)



第3位の大分



第3位の番井琴音 (北海道)



第4位の茨城



第5位の徳田有紀 (静岡)



第5位の愛知



第6位の熊田菜奈海 (埼玉)



第6位の埼玉



第7位の近藤真桜 (群馬)



第7位の奈良



第8位の林育美 (愛知)



第8位の兵庫

成年女子部

個人戦

団体戦 (2人チーム)

団体戦 (4人チーム)



第2位の三原唯 (岡山)



第2位の和歌山B



第2位の広島



第3位の高橋咲紀 (青森)



第3位の宮城A



第3位の沖縄



第4位の菅野沙織 (神奈川)



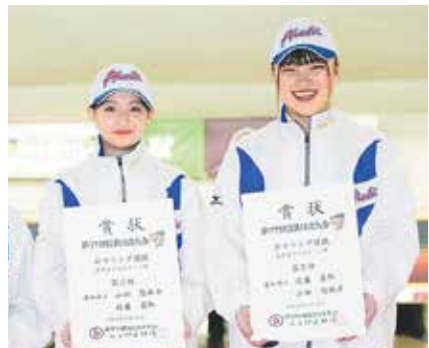
第4位の滋賀A



第4位の茨城



第5位の向谷美咲 (千葉)



第5位の愛知A



第5位の新潟



第6位の門田裕美 (広島)



第6位の千葉A



第6位の三重



第7位の長尾梨沙 (福岡)



第7位の徳島B



第7位の神奈川



第8位の山本菜由 (和歌山)



第8位の神奈川A



第8位の愛知

JBC公認ドリラー

義務研修会&ブロンズコースを開催

JBC公認ドリラー義務研修会が10月11日(火)に群馬・パークレーン高崎で開催されました。有資格者に3年間以上以上の受講が義務付けられている研修会です。最新の研修情報や公認ドリラーとしての業務・手続きに関して詳しく説明

義務研修会&ブロンズコースを開催

この日の講習内容を編集した動画を視聴する「オンライン義務研修会」が2023年1月から実施されます。未受講の公認ドリラーの方はぜひ活用ください。(有資格者の方に後日受講案内を郵送します)

また10月17日(月)・18日(火)には神奈川・ボウリング王国スポート八景店で、JBC公認ドリラー有資格者研修会・ブロンズコースも開催されました。

少人数のセミナー形式で、ボールの回転を確認する実験や、メジャーリング



ボールの回転を実験で学ぶ



ペアを組んでの実習も

2022年度各連盟公認競技会・リーグ登録数

地区名	連盟	2022年10月31日現在	
		公認件数	開催実数
北海道地区	北海道	21	51
	青森	31	50
	岩手	22	37
	宮城	28	68
東北地区	秋田	7	14
	山形	18	14
	福島	17	16
	茨城	13	16
関東地区	群馬	17	65
	栃木	40	40
	群馬	24	40
	千葉	23	41
北信越地区	新潟	23	23
	長野	25	23
	富山	15	22
	石川	1	1
東海地区	長野	15	44
	山梨	21	72
	富山	19	31
	石川	9	2
関西地区	福井	31	55
	滋賀	34	54
	岐阜	20	19
	京都	27	72
中国地区	大阪	47	84
	兵庫	24	15
	奈良	21	30
	和歌山	17	16
四国地区	徳島	14	16
	香川	10	15
	愛媛	3	3
	高松	32	49
九州・沖縄地区	山口	14	10
	福岡	12	14
	佐賀	15	24
	熊本	6	7
全日本学生連合	福井	2	5
	福井	22	49
	福井	4	3
	福井	18	25
総計	福井	5	1
	福井	9	41
	福井	21	54
	福井	23	16
全日本学生連合	8	2	
総計	823	1,236	
リーグ	公認件数	239	

アジア選手権 日本代表の派遣を見送り

第26回アジア選手権大会は当初2021年に開催の予定でしたが、世界的な新型コロナウイルス感染症の蔓延により延期され、2023年1月9日から18日に中国香港で開催が予定されています。しかしながら、開催地での義務的検疫措置および発症リスク等を鑑み、日本代表の派遣見送りを決定しました。

賞金総額3000万円の国内最強決定戦が ついに再開!!



- ③大会への意欲を語る斉藤選手
- ④国内3団体によるビッグトーナメントを発表



国内最強ボウラー決定戦として賞金総額3000万円がかげられたビッグトーナメント「ラウンドワン グランドチャンピオンシップボウリング」が3年ぶりに帰ってきました。



今回もJBCと(公社)日本プロボウリング協会 未入会の一級ボウラーも参加可能な予選会を実施。特定の日時・会場で行う集金予選会、いつでもどの店舗でも参加できるフリータイム予選会、店舗間をネットワークでつなぐ「オンライ」予選会という3パターンを用意しました。ボウ

ラは自身の都合に合わせて何度でも予選に挑戦することが可能です。10月24日(月)には大会開催の記者発表を実施。主催3団体の会長・理事長と注目選手が顔を揃えました。JBC北川会長は、プロボウラーへのリスペクトを込めて胸を借りて挑戦するJBCボウラーの姿勢をアピール。現役全日本王者にしてとぎ国体でも個人戦を制したばかりの斉藤翔選手(学連)はプロアママッチアの対決構図となるこの大会のファイナルを見据えて「父である斉藤茂雄プロと対決してみたい」と意欲を見せました。

下地監督の出張レッスン「キャラバン隊」

全日本ナショナルチームの下地賀寿守監督が各地を巡る出張レッスン「キャラバン隊」。

12月開催の秋田会場と岩手会場について、参加者を募集しています。

会場 盛岡スターレーン (公競No.103-017)

募集人数 先着32名

両会場とも、参加費(講習・実技費用)は無料、申込締切は11月25日(金)です。詳細情報と申込用紙ダウンロードは協会ホームページ (https://www.jbc-bowling.or.jp/topics/221020/)にて。

この事業はスポーツ振興くじ(toto)の助成を受けて開催します。

2022年10月11日以降登録者

【特別個人会員】

- ▽秋田県 布目浩嗣(連盟理事長)、三浦真、佐藤順一、千葉久恵、櫻田大喜、石垣由美子、鈴木真人、佐藤陽由
- ▽東京都 富山幸美(JBC C評議員)
- ▽愛知県 伊藤一明(JBC C理事、連盟理事長)、天野政幸(JBC C評議員、連盟副理事長、真鍋洋(連盟副理事長)、山口勝也(同)、一江拓生、和田朋之、鷹羽孝、赤尾昇一、則武皓爾、皆越英次、酒井孝司、三浦浩、淀川清登、濱元小夜子、小島真、中西貴久
- ▽徳島県 山口俊一(連盟会長)
- ▽宮崎県 原口宏史(連盟理事長)
- ▽沖縄県 翁長政俊(連盟会長)、伊集守和(同理事長)、國場幸博、下地良信、比嘉輝久、伊敷義則、小山正樹、安座間俊一、崎山平志郎、勝連健一郎、石嶺可奈子、狩俣学、比嘉剛己、比嘉秀和、山内志津男(順不同・敬称略)
- ▽長野県 星野高志、中野伸彦、佐伯典代、菅啓司、熊谷知久、早川由紀子、松木勝敏、林伸治
- ▽徳島県 山口俊一(連盟会長)
- ▽宮崎県 原口宏史(連盟理事長)
- ▽沖縄県 翁長政俊(連盟会長)、伊集守和(同理事長)、國場幸博、下地良信、比嘉輝久、伊敷義則、小山正樹、安座間俊一、崎山平志郎、勝連健一郎、石嶺可奈子、狩俣学、比嘉剛己、比嘉秀和、山内志津男(順不同・敬称略)

▽11月3日(木・祝)〜6日(日) 第51回全国都道府県対抗選手権大会 鹿児島・サンライズ伊予

▽11月9日(水)〜15日(火) 第16回アジアニア選手権大会 マレーシア

▽11月11日(金)〜13日(日) 第55回全日本新人選手権大会 山形

▽11月25日(金)〜27日(日) 第55回全日本実業団選手権大会 埼玉・新狭山グラウンドボウル

▽12月2日(金)〜4日(日) 文部科学大臣杯第60回全日本大学選手権大会 神奈川・川崎グラウンドボウル

▽12月10日(日) ボウリング教室(キャラバン隊) 秋田・仙北ファミリーボウル

▽12月11日(日) ボウリング教室(キャラバン隊) 岩手・盛岡スターレーン

▽12月23日(金)〜25日(日) 文部科学大臣杯第29回全国高等学校対抗選手権大会 三重・津グラウンドボウル

スポーツは育てることができる。

スポーツくじ(toto・BIG)の収益は、日本のスポーツを育てるために使われています。

新登場! 大会ライブ配信専門チャンネル

YouTube 「JBC ボウリング Live」

Let's access! JBCのSNS

INFORMATION 大会・イベント情報